

はじめての『遠野物語』

- 1月 『遠野物語』と佐々木喜善
—お笑い芸人 あがいん直さんを招いて—
- 2月 『遠野物語』と水野葉舟
- 3月 『遠野物語』に魅せられた人々

講師 『柳田國男全集』編集委員 小田富英

『遠野物語』は、今から百十三年前、急激な近代化の波のなかで、この国の未来を憂いた少壮の農政官僚柳田國男が、たった350部、おそろおそろ出版した書とされています。その『遠野物語』は今や古典になりつつあり、その読み方も多様多彩、影響力も研究領域からサブカルチャー分野まで、留まることのない勢いで広がっています。その一方、固定観念にとらわれすぎて、苦手意識をお持ちの方も多いようです。



佐々木喜善

私は、ここ数年、この『遠野物語』を読む講座において、テーマ別の第Ⅰ期、さらに119話全話を順番(柳田が考えた配列順)に読む第Ⅱ期と、参加者の皆さまと読み進めてきました。次は、参加者の皆さま方の課題解決の読みの世界に入るわけですが、その前にもう一度原点に戻り、「読みたかったけれど、途中で諦めてしまった」方々にも広く呼びかけをさせていただくことになりました。

今期は、「はじめての『遠野ものがたり』」の第三弾。『遠野物語』成立に関わった二人と、この書に大きな影響を受けた人々の人物像を描きたいと考えています。

『遠野物語』ファンの方も今まで通り大歓迎です。お待ちしております。(講師記)。

※講師紹介は裏面をご覧ください。

日時 2024年 1/25、2/22、3/28 木曜 13:30-15:00

回数 3回 講座形態 教室・オンライン自由講座

受講料

会員 10,560円 [受講料 9,900円 / 教材費 165円 / 設備費 495円]

一般 14,850円 [受講料 14,190円 / 教材費 165円 / 設備費 495円]

入会金は5,500円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

持ち物 当日資料を配布します。

1日体験 『遠野物語』と佐々木喜善 お笑い芸人 あがいん直さんを招いて

日時 2024年 1/25 木曜 13:30-15:00

会員 3,850円 [受講料 3,630円 / 教材費 55円 / 設備費 165円]

一般 4,950円 [受講料 4,730円 / 教材費 55円 / 設備費 165円]

<講師紹介>

東京学芸大学卒。36年間東京都公立小学校教員を勤めた後、作新学院大学特任教授を経て、現在『柳田国男全集』編集委員、日本地名研究所『地名と風土』編集長、遠野文化研究センター研究員、常民大学運営委員、全面教育学研究会会員、『遠野物語』で交流を楽しむ会(『遠野物語』交流楽会)代表など。


編著:『柳田国男全集』別巻Ⅰ「年譜」(筑摩書房)、『柳田国男自筆 原本 遠野物語』(岩波書店)共著:『柳田国男伝』(三一書房)、『口語訳 遠野物語』(河出文庫)、『犯罪の民俗学 2』(批評社)、『わいわい学級』(現代書館)、『地域に根ざす民衆文化の創造—「常民大学」の総合的研究』(藤原書店)など。論文:「初稿本『遠野物語』の問題」(『国文学』)、「柳田国男おじいさんのメッセージ」(『毎日小学生新聞』連載)、「平地人とはだれか」の三回連載(『伊那民俗研究』『遠野学』)、「『遠野物語』と遠野郷民俗誌の間」(『地名と風土』第13号)、「新渡戸稲造と柳田国男」(『新渡戸稲造の世界』第28号)、「柳田国男ゆかりの富山の土地と人」(『地名と風土』第14号)、「柳田国男年譜作成の現場から」(『日本古書通信』1101号～1103号)「柳田学と後藤民俗思想史をつなぐ」(『伊那民俗研究』第29号)、「谷川健一と後藤総一郎」(『地名と風土』第15号)、「謎解き 原本 遠野物語」(『現代思想』第50巻第8号、2022年7月臨時増刊号)など多数。

★Zoom ウェビナーを使用した、教室でもオンラインでも受講できる自由選択講座です(講師は教室)。見逃し配信(1週間限定)はマイページにアップします。各自ご確認ください。お問合せは asaculonline001@asahiculture.com で承ります。

※ご入会の優待制度をご利用の方はお申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

 朝日カルチャーセンター

<立川教室>

〒190-0012 東京都立川市曙町 2-1-1 ルミネ立川 9F

Tel:042-527-6511

<https://www.asahiculture.jp/>